

2021年度 日本文化人類学会

第3回理事会 議事録

日時：2021年10月3日（日）14：00～16：40

会場：Zoomを使用したオンライン会議

＜出席者＞窪田幸子、東賢太朗、飯嶋秀治、飯田卓、石井美保、岡田浩樹、小川さやか、川口幸大、木村周平、湖中真哉、里見龍樹、椎野若菜、中川理、名和克郎、真島一郎、丸山淳子、箕曲在弘（以上、理事）

三尾裕子（以上、監事）

＜委任状提出者＞亀井伸孝、曾我亨、田辺明生、松村圭一郎、森田敦郎（以上、理事）、岸上伸啓（以上、監事）

〔承認事項〕

1. 第2回理事会議事録（案）について承認。
2. 新入会・再入会員の承認
 - ・11名の新入会員、2名の再入会員につき、業務執行理事の間で入会を承認したことを報告し、事後承認。
3. 会費特例措置申請者の承認
 - ・4名の申請者につき、業務執行理事の間で承認したことを報告し、事後承認。

〔報告事項〕

1. 代表理事報告
 - ・前回理事会で承認された、人文社会系学協会連合連絡会のメーリングリストへの登録が完了したことを報告。
 - ・学会事務局室の賃貸借契約について2022年3月で契約満了を迎えるため、神奈川大学へ再契約を申し入れたこと、先方での検討後に連絡があることを報告。
 - ・窪田会長が現在、IUAESの副会長に就いていること、会員の少ない東アジア・東南アジアのウェビナーの開催を検討中であることを報告。IUAESの大会が今年の11月9日～13日にメキシコのユカタンで、来年5月25～31日にロシアのペテルスブルグで開催されることを報告。
2. 業務執行理事（庶務担当）報告
 - ・前回理事会での決定に基づき朝日賞の推薦を行ったことを報告。
 - ・学会からの推薦候補者を募集していた三島海雲学術賞について、選考の結果、2名の推薦を行ったことを報告。
 - ・前回理事会での決定に基づき第30回代議員選挙管理委員の委嘱を行ったこと、今後、第1

回選挙管理委員会にて選挙日程等を確定し、会員調査、代議員選挙を実施することを報告。

- ・第 17 回学会賞受賞候補者に関する投票の依頼を代議員に郵送で行ったことを報告（9 月 30 日発送、10 月 15 日消印有効）。

3. 業務執行理事（会計担当）報告

- ・学会の基金取り扱い規程が定められたため、これまでの将来計画基金、植松基金をこれに則った形で設置するよう検討中であることを報告。
- ・研究大会預け金について、より適切な形で今後進めていけるよう関係者と検討中であることを報告。

4. 業務執行理事（総務担当）報告

- ・第 16 回人類学関連学会協議会合同シンポジウムが 10 月 11 日に開催されることを報告。来年度の合同シンポジウムについて本学会からの登壇者の人選を今後進めることを報告。
- ・学会主催公開シンポジウムを 11 月 6 日に開催予定であることを報告。企画者の佐久間寛会員より、計画当初はハイブリッド開催を予定していたが COVID-19 感染症の流行の状況に鑑みオンラインへ切り替えざるを得ないとの報告が 8 月中にあり、開催会場（開催形態）の変更について日本学術振興会へ事業内容等変更届を提出したことを報告。理事会での報告後、直ちに広報を開始予定。
- ・2022 年度学会主催公開シンポジウムについて、来年度の澁澤民族学振興基金民族学振興プロジェクト助成の申請書と科研費（成果公開促進費）「成果公开发表（B）」の計画調書を提出したことを報告。澁澤民族学振興基金助成については、例年より助成希望額増となったが、企画上必要な経費であるため増額での申請を行ったことを報告。

5. 業務執行理事（広報担当）報告

- ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき 10 件の JASCA-INFO 配信を行ったことを報告。
- ・投稿規定の改定のアップロードが事情により遅れていることをお詫び、近日中に対応予定であることを報告。

6. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：石井理事、川口理事、湖中理事より、進捗状況報告。川口理事より、特集企画募集のアナウンス。
- ・JRCA 編集委員会：東理事より、進捗状況報告。前回理事会で提案のあった上橋会員の JRCA 論文の広報について、学会の広報の規定に抵触しない範囲で、例えば上橋会員のオフィシャル HP からリンクをはっていただく等も継続して検討することとした。
- ・研究育成委員会：委員長より、アーリーキャリア研究者セミナー「人類学をベースにキャリアアップしよう：アカデミアの場合」を 9 月 10 日に開催し、盛況であったことを報告。

- ・次世代育成セミナーの応募状況とコメンテーターの依頼などの進捗状況について報告。
- ・医療者向け人類学教育連携委員会：木村理事より、学会誌に掲載予定の記事を資料として、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」改訂に対し委員会で行った活動内容や働きかけ、提案について説明。
- ・地区研究懇談会報告：欠席の亀井理事に代わり箕曲理事より、中部地区研究懇談会の開催と今後の予定を報告。

〔審議事項〕

1. 「JASCA-INFO（理事会からメーリングリスト）」ページ更新について
 - ・業務執行理事（広報担当）の名和理事より、学会ホームページに記載されている JASCA-INFO の配信ルールについて、WCAA と IUAES の上部組織として発足した WAU の催し等に関する情報発信が JASCA-INFO で可能となるよう変更提案がなされ、審議の結果、承認された。
2. 『文化人類学』オープンアクセス化にむけて
 - ・『文化人類学』編集委員の飯田理事より、オープンアクセス化についての検討を継続中であることと、前回理事会以降の状況説明がなされた。美巧社にテストケースとして委託した 86 巻 1 号の J-STAGE 掲載がスムーズに進まず学会側でも従来通りの作業を行ったこと、現在、美巧社で原因を究明中であることが報告された。
 - ・86 巻 2 号についてもテストケースとして美巧社へ J-STAGE 掲載に係わる作業を依頼する予定であること、暫定的なケースであるため 86 巻 2 号のデータ作成も 86 巻 1 号と同条件での料金とする旨、美巧社から申し出があったことが説明された。この費用を学会予算から支出することについて審議の結果、承認された。
3. “JRCA” の今後ワーキング・グループの設置について
 - ・“JRCA”編集主任の東理事より、前々回、前回の理事会での経緯が説明され、今期理事会で“JRCA”のあり方を検討し第 30 期理事会に向けて提言を行うためのワーキング・グループの設置が提案された。メンバーは東理事、窪田会長、飯田理事、箕曲理事、里見理事。審議の結果、ワーキング・グループの設置とメンバーが承認された。
4. 第 55 回研究大会収支報告について
 - ・研究大会実施委員の中川理事より、第 55 回研究大会収支報告書について説明がなされた。預け金と学会立て替え分の学会会計への返金、余剰金の額について報告。研究大会は定款に定められた研究発表のための事業であり、営利活動として行うものではないことを確認。従った余剰金は会員の研究活動のために使用することを確認し、学会会計へ組み入れることが承認された。
 - ・学会会計からの支出と返金が年度をまたぐ従来からの預け金方式について、法人として適切な形式での運営となるよう、継続して検討していくことを確認した。
5. 会費特例措置の前年度適用について

- ・業務執行理事（庶務担当）の箕曲理事より、1名の会員より前年度分の会費について会費特例措置適用の希望があったことが説明された。前年度に遡る適用の可否に関しては、申し出があった場合にのみ業務執行理事が検討の上、判断することが提案され、審議の結果、承認された。
6. 文化人類学関連の研究会組織についての情報掲載場所について
- ・研究育成委員会委員長より、次世代支援ワーキング・グループで文化人類学関連の研究会・研究会活動情報を集約したものを作成したこと、この情報は所属機関や世代を越えた若手研究者の研究ネットワークの拡充に寄与することを目的として作成されたことが報告された。この集約された情報の掲載場所や若手へ向けた情報発信の場について検討を行った結果、まずは現在の学会ホームページへ情報を掲載する形で対応することが承認された。非会員もアクセス可能な情報発信・情報交換ツールについては今後も委員会や次世代支援ワーキング・グループで継続して検討することとした。
7. その他
- ・業務執行理事（庶務担当）の箕曲理事より、次期の委員会構成について各委員会で変更の要不要について検討し、新委員会の設置提案や業務分担の不都合などあれば、箕曲理事と事務局に連絡するよう依頼がなされた。
 - ・第4回理事会：12月12日（日）14時～オンラインを予定。

以上